

2023年度 研修員一覧

所属	資格	氏名	種別	期間	主たる研修先	研修概要	備考
法	教授	葛原 カ三	春学期	2023.4.1 ～ 2023.9.20	(国外)ドイツ:Freiburg大学、Max-Planck-Institut zur Erforschung von Kriminalität, Sicherheit und Recht (国内)関西大学	共犯理論に関するドイツでの文献収集、現地研究者との意見交換及び論文執筆	
	教授	坂本 治也	秋学期	2023.9.21 ～ 2024.3.31	関西大学	研修期間中に3つの調査研究を行いたい。第1に、青年会議所(JC)の活動実態の調査である。各地の青年会議所で実際に活動している人々へのインタビューを行う。第2に、市民社会組織についての理論研究である。これは文献レビューを中心に研究する。第3に、政治学方法論の知識・分析スキルの習得である。先端的な因果推論手法について、文献や統計セミナー参加を通じて習得する。	
文	被選考者なし						
経済	被選考者なし						
商	教授	小井川 広志	春学期	2023.4.1 ～ 2023.9.20	イギリス:Cambridge大学Judge Business School	申請者(小井川)は、発展途上国の経済発展を研究の対象としている。ここ数年は、貧困・格差の解消、経済成長、地球環境保全、パートナーシップなど開発問題の関連性からSDGsに向けた活動の重要性と理論的検証、ならびにその実装について研究を進めてきた。日本国内のSDGs研究において、日本と諸外国のSDGs活動との比較研究を行った成果は、申請者の知る限りでは皆無である。日本のSDGs活動の更なる発展のためにも、その学術的空白を埋める必要性を痛感している。SDGs先進地域の欧州にて、資料収集、インタビューなどを通じて諸外国の実情を調査する。	
	教授	横山 恵子	秋学期	2023.9.21 ～ 2024.3.31	(国外)オーストラリア:南オーストラリア大学 (国内)関西大学	ソーシャルビジネスの展開とソーシャル・アントレプレナーシップの統合的研究	
社会	教授	大和 礼子	春学期	2023.4.1 ～ 2023.9.20	関西大学	親と成人子の関係について、アジア圏における国際比較研究を行う。日本を含む東アジアでは父系の文化的伝統があるが、少子化の進行の中で、そのような伝統はどのように変容し、同時にどのように維持されているか、またアジアの中で、父系の文化的伝統がある社会と、そのような伝統がない(あるいは弱い)社会では、現代の親-成人子関係にどのような違いがみられるのかといった問いを中心に、研究を行う。	
政策創造	被選考者なし						
外国語	被選考者なし						

2023年度 研修員一覧

所属	資格	氏名	種別	期間	主たる研修先	研修概要	備考
人間健康	被選考者なし						
総合情報	教授	浅野 晃	春学期	2023.4.1 ～ 2023.9.20	(国外)ニュージーランド: AgResearch社 (国内)関西大学、名城大学情報工学部、立命館大学情報理工学部、北海道教育大学札幌校	1. 北海道教育大学・名城大学・立命館大学の共同研究者と、色彩科学・感性科学の共同研究を行う。 2. AgResearch社(ニュージーランド・クライストチャーチ)に滞在し、繊維製品への感性についての共同研究を行う。 3. 個人研究室にて論文執筆を行う。	
社会安全	被選考者なし						
システム理工	被選考者なし						
環境都市工	被選考者なし						
化学生命工	被選考者なし						
心理学	被選考者なし						
法務	被選考者なし						
会計	教授	大西 靖	春学期	2023.4.1 ～ 2023.9.20	関西大学	持続可能性会計に関連する研究動向および実務動向に関する調査を行う。会計学の領域では、持続可能性に関連する研究論文が数多く発行されているが、それぞれの論文は、異なる理論的背景を基礎としている。また、持続可能性報告の実務的なガイドラインも様々な立場の組織により開発されている。これらの研究間の関連性、およびガイドライン間の関連性は必ずしも明らかではない。研修を通じて、これまでの持続可能性会計の研究動向および持続可能性報告ガイドラインの策定にかかわる動向を明らかにする。そのことによって、持続可能性会計の将来の展望および今後の課題を提示することが期待される。	
教育推進	被選考者なし						
国際	被選考者なし						